

**製品名: CRABP-II ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09362**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	16kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CRABP2
別名	CRABP2; Cellular retinoic acid-binding protein 2; Cellular retinoic acid-binding protein II; CRABP-II
遺伝子 ID	1382.0
SwissProt ID	P29373
免疫原	抗血清はヒト CRABP2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 41-90

**背景**

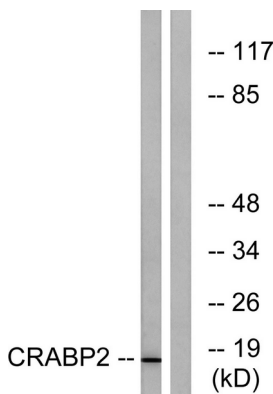
この遺伝子は、レチノイン酸 (RA、ビタミン A の一種) 結合タンパク質ファミリーおよびリポカリン / 細胞質脂肪酸結合タンパク質

ファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質は細胞質から核への輸送タンパク質であり、RAがその同族受容体複合体に結合し、核へ移行することを促進します。レチノイドシグナル伝達経路に関与し、循環血中の低密度リポタンパク質コレステロールの増加と関連しています。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする選択的スプライシング転写バリエーションがみついています。[RefSeq 提供、2010年12月],ドメイン: 内部に疎水性リガンドを収容するβバレル構造を形成する。機能: レチノイン酸を核へ輸送する。核内レチノイン酸受容体へのレチノイン酸のアクセスを制御する。誘導: レチノイン酸による。類似性: カリシンスーパーファミリーに属する。脂肪酸結合タンパク質 (FABP) ファミリー。細胞内局在: リガンド結合により構造変化が生じ、核局在モチーフが露出し、タンパク質は核内に輸送される。サブユニット: RXR および RARA と相互作用する (類似性による)。インポーチンαと相互作用する。

## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



CRABP2 抗体を用いた HT-29 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



CRABP-II ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析